

グローバル・アンブレラ



- UBS 世界株(除く日本)／追加型／海外／株式／インデックス型
- UBS 世界株ショート(除く日本)／追加型／海外／株式／特殊型(ブル・ベア型)
- UBS BRIC／追加型／海外／株式／インデックス型
- UBS コモディティ／追加型／海外／その他資産(商品先物)／インデックス型
- UBS フード(豪ドル連動型)／追加型／海外／その他資産(商品先物)／インデックス型
- UBS 原油(WTI先物指数連動型)／追加型／海外／その他資産(商品先物)／インデックス型
- UBS エコ／追加型／内外／株式／インデックス連動型
- UBS マネー／追加型／国内／債券

※当レポートにおける分配金については全て課税前としております。また、基準価額の記載については全て信託報酬控除後としております。

ファンドの特色

■世界の株式およびコモディティを実質的な投資対象とした7つのファンドと、待機資金用のマネーファンドの計8つのファンドをご提供します*。

*販売会社により取扱うファンドが異なる場合があります。

- ・ファンドは世界の株式またはコモディティの主要指数に概ね連動した投資成果を目指します。
- ・グローバル・アンブレラを構成する8つのファンドは、「UBS 世界株(除く日本)」、「UBS 世界株ショート(除く日本)」、「UBS BRIC」、「UBS コモディティ」、「UBS フード(豪ドル連動型)」、「UBS原油(WTI先物指数連動型)」、「UBS エコ」および「UBS マネー」です。

■グローバル・アンブレラを構成するファンド間でのスイッチングが可能です。ただし、販売会社によりスイッチングができない場合があります。

各ファンドの投資割合に応じて、様々なポートフォリオの構築が可能となります。

- ・「UBS マネー」の買付は、スイッチングによる買付のみとなります。
- ・「UBS マネー」以外のファンドから、他ファンドにスイッチングする際には、一旦、「UBS マネー」にスイッチングし、後日、他ファンドへスイッチングすることが必要です。

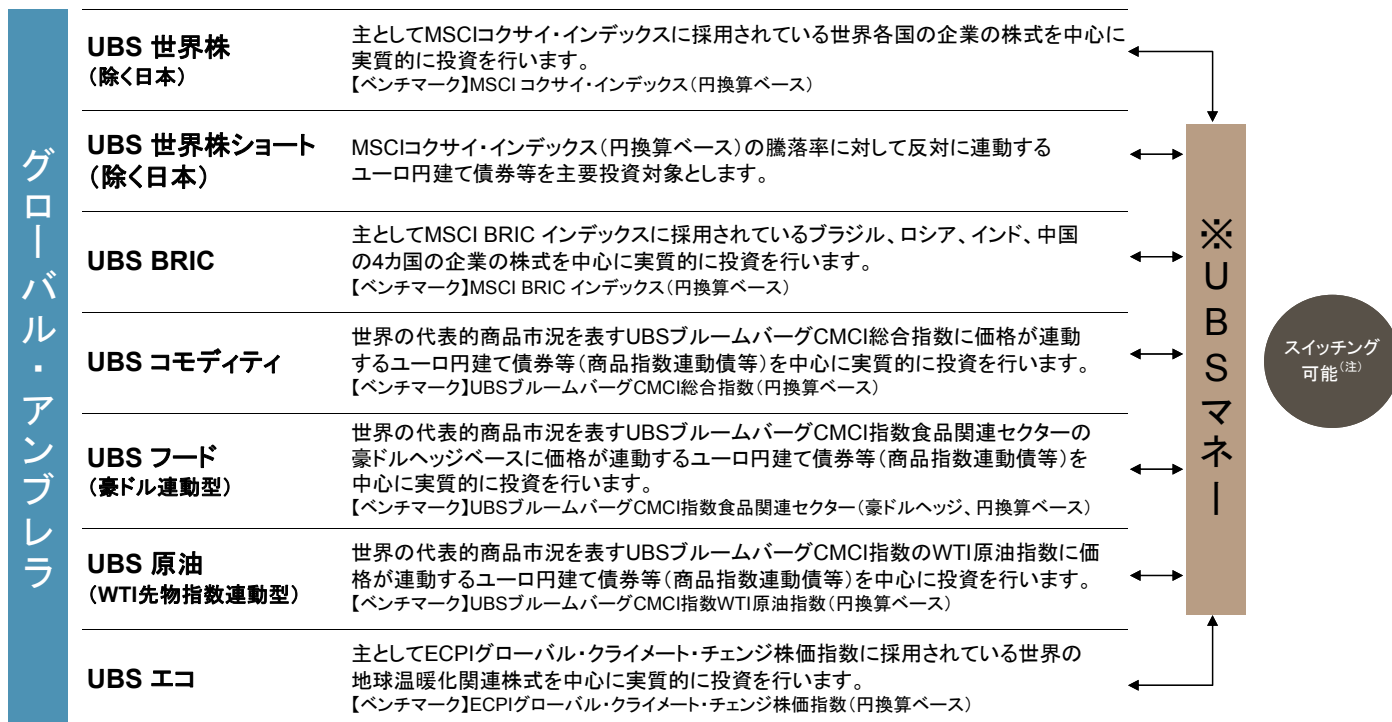
■UBSグローバル・アセット・マネジメントが運用を行います。

・UBSグローバル・アセット・マネジメントはグローバルな総合金融機関UBSグループの資産運用部門です。

※資金動向、信託財産の規模、市況動向等によっては、上記の運用ができない場合があります。

グローバル・アンブレラの仕組み

- 各ファンドは、概ね指数の動きと連動する運用を目指します。
- 各ファンド間でのスイッチングが可能です。ただし、販売会社によりスイッチングができない場合があります。



(注)販売会社によりスイッチングができない場合、またはスイッチングの対象ファンドが異なる場合があります。詳しくは各販売会社へお問い合わせください。

※信用度の高い円建て短期公社債等に投資を行い、利息等収益の確保を図ります。

- ・「UBS マネー」の買付は、スイッチングによる買付のみとなります。
- ・「UBS マネー」以外のファンドから、他ファンドにスイッチングする際には、一旦、「UBS マネー」にスイッチングし、後日、他ファンドへスイッチングすることが必要です。

<グローバル・アンブレラ> UBS 世界株(除く日本)

追加型/海外/株式/インデックス型

ファンドの特色

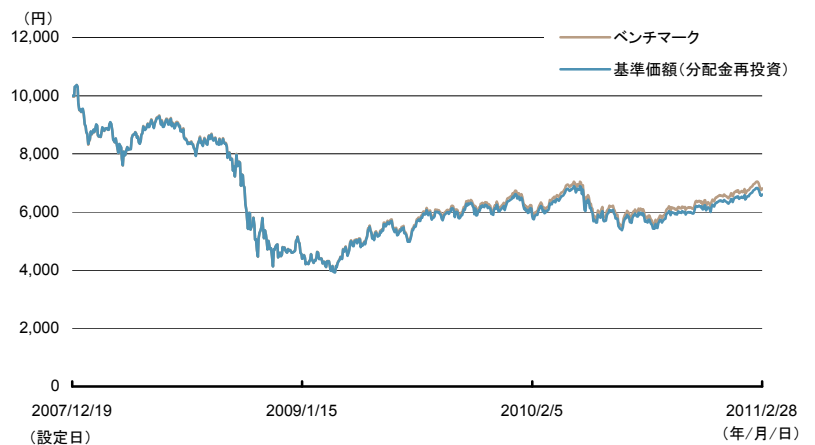
- 主としてMSCIコクサイ・インデックスに採用されている世界各国の企業の株式を中心に実質的に投資を行います。
- ベンチマークは、MSCIコクサイ・インデックス(円換算ベース)とし、概ね連動させるように運用を行います。

運用実績

ファンドデータ

基準価額	6,605円
純資産総額	18.4億円
設定日	2007年12月19日
信託期間	2007年12月19日から 2012年12月5日まで
決算日	原則として毎年12月5日 (休業日の場合は翌営業日)

基準価額(分配金再投資)の推移(設定~2011年2月28日)



分配金実績 (1万口当たり、課税前)

決算日	分配金額
2008年12月5日	0円
2009年12月7日	0円
2010年12月6日	0円
—	—
—	—
設定来累計	0円

基準価額(分配金再投資)の騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ファンド	2.72%	8.37%	20.86%	10.92%	-25.07%	-33.95%
ベンチマーク	2.78%	8.69%	21.56%	12.26%	-22.70%	-31.89%

※分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。ただし、委託会社の判断で分配を行わないことがあります。

※基準価額(分配金再投資)は、ファンドの分配金(1万口当たり、課税前)でファンドを購入(再投資)したと仮定した場合の価額です。

※ベンチマークは、基準日前日のMSCIコクサイ・インデックス(現地通貨ベース)を基準日の三菱東京UFJ銀行が公表する対顧客電信相場の仲値で円換算し、指数化したものです。

※騰落率は各応答日で計算しています。

※応答日が休業日の場合は前営業日の数値で計算しています。

※基準価額の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

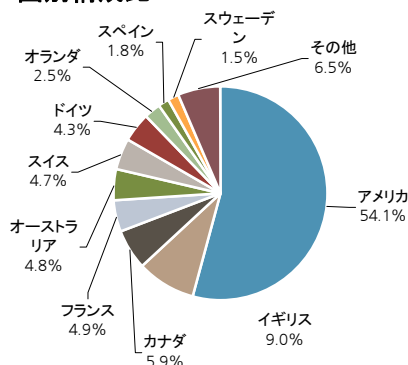
ポートフォリオの状況

資産構成比

株式	99.7%
その他 現金等	0.3%
	100.0%

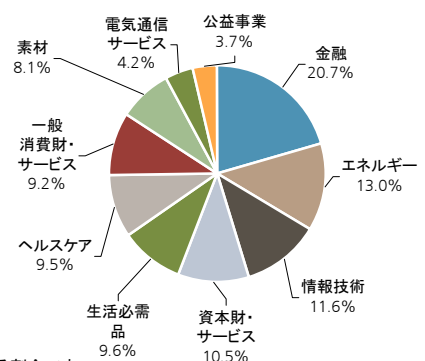
※資産構成比は、マザーファンドの純資産総額に占める割合です。

国別構成比



※国別/業種別構成比は、マザーファンドの株式評価総額に占める割合です。
※表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

業種別構成比



UBS世界株(除く日本)(続き)

組入れ上位10銘柄(銘柄数合計: 1116銘柄)

銘柄名	国	業種	銘柄概要	構成比
1 エクソンモービル	アメリカ	エネルギー	石油化学メーカー。世界規模で石油とガスの探査・生産に従事するほか、発電、石炭を含む鉱山事業などを手掛ける。ガソリンや潤滑油、化学品の製造、販売も手掛ける。	1.9%
2 アップル	アメリカ	情報技術	パソコンメーカー。パソコンおよび関連製品と移动通信機器、各種関連ソフトウェア、サービス、周辺機器、ネットワーキング・ソリューションのデザイン、製造、販売を手掛ける。製品は、オンライン・ストア、自社小売店、自社販売員、サードパーティ卸売り、再販業者を通して販売される。	1.4%
3 ゼネラル・エレクトリック	アメリカ	資本財・サービス	多様な技術・メディア・金融サービス会社。手掛ける製品は、航空エンジンをはじめ、発電機、水処理、セキュリティ関連などの技術製品から、医療映像、法人・消費者向けの金融、メディア・コンテンツ、一般工業製品などに至るまで幅広い製品とサービスを提供する。世界で事業を展開する。	1.0%
4 マイクロソフト	アメリカ	情報技術	ソフトウェアメーカー。ソフトウェア製品の開発、製造、ライセンス供与、販売およびサポートを手掛ける。基本ソフトウェアをはじめ、サーバー用アプリケーション、業務用・個人用アプリケーション、ソフト開発ツール、インターネットやイントラネット用ソフトウェアなどを提供する。ビデオゲームコンソールと音楽用デジタル娯楽機器の開発も手掛ける。	0.9%
5 シェブロン	アメリカ	エネルギー	世界的総合エネルギー会社。石油・天然ガスの生産、輸送のほか、燃料の精製、販売、供給や、化学事業、鉱山経営、発電、エネルギーサービスも手掛ける。	0.9%
6 IBM	アメリカ	情報技術	最新情報技術を利用したソリューションを提供。ソリューションには、テクノロジー、システム、製品、サービス、ソフトウェア、金融に向けたものがある。世界にある自社の流通販売組織および多数の外部卸売り、小売業者を通じて製品を販売する。	0.9%
7 HSBCホールディングス	イギリス	金融	HSBC Groupの銀行持株会社。事業容はリテールおよびコーポレート・バンキング、貿易金融、受託業務、証券代理、保管務、キャピタルマーケット、財務サービス、プライベート・バンキング、投資銀行、保など多岐にわたり、世界各地で事業を展開。	0.9%
8 ネスレ	スイス	生活必需品	多国籍食品加工会社。広範囲にわたる食品の製造・販売を手掛ける。製品は、ミルク、チョコレート、菓子類、飲料水、コーヒー、クリーム、調味料、ペットフードなど。	0.9%
9 ジェー・ピー・モルガン・チェース・アンド・カンパニー	アメリカ	金融	国際的金融サービス会社およびリテール銀行。サービスには、投資銀行業務、米国債と証券のブローカーサービス、資産管理、プライベートバンキング、カード会員サービス、一般商業銀行業務、住宅金融などがある。企業、機関、個人を対象にサービスを提供する。	0.8%
10 プロクター・アンド・ギャンブル・カンパニー	アメリカ	生活必需品	国際的な家庭用化学品メーカー。主な製品は、洗剤、清掃液、紙、美容品、食品・飲料、ヘルスケア用品など。販売先は、量販店、食料・日用品店、会員制ストア、薬局、個人商店など。	0.8%

※構成比は、マザーファンドの純資産総額に占める割合です。

市場概況

2月のUBS世界株(除く日本)の基準価額は2.72%の上昇となりました。一方、UBS世界株ショート(除く日本)は2.76%の下落となりました。主要市場のマクロ概況は以下の通りになります。

米国:

2月の米国株式市場は、月初に発表されたISM製造業指数が大幅改善したことなどから上昇して始まりました。その後、中国の利上げがあったものの、市場での反応は薄く、M&Aのニュースや12月の消費者信用残高の増加幅が予想を上回ったことなどを材料に株式市場は続伸しました。月の後半に入り、リビアでの政情不安が拡大すると地政学リスクと原油供給に対する懸念が高まり株式市場は下落しましたが、月末にかけてはサウジアラビアによる原油の増産発表や原油価格が低下したことなどから反発し、前月末比では上昇して月を終えました。

欧州:

2月の欧州株式市場は、月初、ユーロ圏のPMI製造業が上方修正されたことや米国のISM製造業指数が大幅改善したことなどをうけ、上昇して始まりました。後半に入るとリビア情勢に対する不安やポルトガルを中心とした欧州周辺国のソブリンリスクへの懸念がくすぶる、大きく下落する展開となったものの、月末にかけてはサウジアラビアの原油増産発表などをうけ反発し、前月末比では上昇した水準で月を終えました。

<グローバル・アンブレラ>

UBS 世界株ショート(除く日本)

追加型/海外/株式/特殊型(ブル・ベア型)

ファンドの特色

- MSCIコクサイ・インデックス(円換算ベース)の騰落率に対して反対に運動するユーロ円建て債券等を主要投資対象とします。
- 投資成果を、日々の基準価額の値動きがMSCIコクサイ・インデックス(円換算ベース)の騰落率と概ね反対となるように運用します。

運用実績

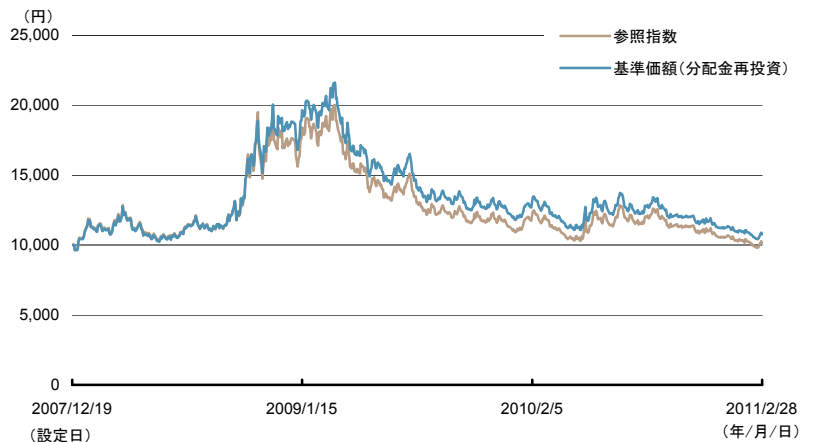
ファンドデータ

基準価額	10,763円
純資産総額	22.3億円
設定日	2007年12月19日
信託期間	2007年12月19日から 2012年12月5日まで
決算日	原則として毎年12月5日 (休業日の場合は翌営業日)

分配金実績（1万口当たり、課税前）

決算日	分配金額
2008年12月5日	0円
2009年12月7日	0円
2010年12月6日	0円
—	—
—	—
設定来累計	0円

基準価額(分配金再投資)の推移(設定~2011年2月28日)



基準価額(分配金再投資)の騰落率

	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
ファンド	-2.76%	-8.62%	-18.78%	-17.75%	-1.95%	7.63%
参照指数	-2.57%	-8.52%	-18.57%	-16.24%	-8.40%	1.39%

※分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。ただし、委託会社の判断で分配を行わないことがあります。

※基準価額(分配金再投資)は、ファンドの分配金(1万口当たり、課税前)でファンドを購入(再投資)したと仮定した場合の価額です。
 ※参照指数は、基準日前日のMSCIコクサイ・インデックス(ドルベース)を基準日前日のMSCIレートで円換算した指数の騰落率の符号を変えて指数化したものです。世界株ショート(除く日本)のベンチマークではありません。
 ※騰落率は各応答日で計算しています。
 ※応答日が休業日の場合は前営業日の数値で計算しています。
 ※基準価額の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

ポートフォリオの状況

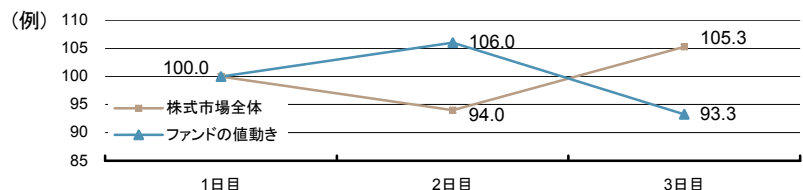
資産構成比

資産	比率
ユーロ円建て債券*	74.2%
コールローン・その他	25.8%
合計	100.0%

*ユーロ円建て債券とはUBS AGロンドン支店が発行する商品指数連動債です。
 ※構成比は、マザーファンドの純資産総額に占める割合です。

「UBS 世界株ショート(除く日本)」の値動きの留意点

「UBS 世界株ショート(除く日本)」は、日々の基準価額の値動きが株式市場全体の値動きの「概ね反対」となることを目指して運用を行います。したがって、たとえ正確に運用目標が達成されたとしても、2日以上離れた日との比較においては、「概ね反対」とはなりませんので、十分ご留意下さい。



	1日目	2日目	3日目
株式市場全体	100.0	94.0	105.3
株式市場の変化率	—	-6.00%	12.00%
ファンドの値動き	100.0	106.0	93.3

上記のグラフや表は株式市場全体の値動きとUBS世界株ショート(除く日本)の値動きの関係を説明するための例であり、実際の値動きを示したものではありません。

※市場概況については前ページをご覧ください。

<グローバル・アンブレラ>

UBS BRIC

追加型／海外／株式／インデックス型

ファンドの特色

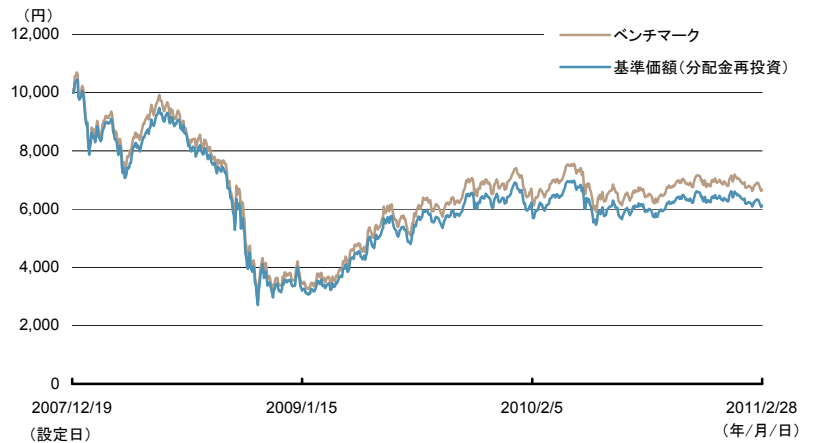
- 主としてMSCI BRIC インデックスに採用されているブラジル、ロシア、インド、中国の4カ国の企業の株式を中心に実質的に投資を行います。
- ベンチマークは、MSCI BRIC インデックス(円換算ベース)とし、概ね連動させるように運用を行います。

運用実績

ファンドデータ

基準価額	6,118円
純資産総額	138.4億円
設定日	2007年12月19日
信託期間	2007年12月19日から 2012年12月5日まで
決算日	原則として毎年12月5日 (休業日の場合は翌営業日)

基準価額(分配金再投資)の推移(設定～2011年2月28日)



分配金実績 (1万口当たり、課税前)

決算日	分配金額
2008年12月5日	0円
2009年12月7日	0円
2010年12月6日	0円
—	—
—	—
設定来累計	0円

基準価額(分配金再投資)の騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	-1.31%	-2.73%	6.57%	2.91%	-32.02%	-38.82%
ベンチマーク	-1.01%	-2.35%	6.86%	4.17%	-27.61%	-33.25%

※分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。ただし、委託会社の判断で分配を行わないことがあります。

※基準価額(分配金再投資)は、ファンドの分配金(1万口当たり、課税前)でファンドを購入(再投資)したと仮定した場合の価額です。
 ※ベンチマークは、基準日前日のMSCI BRICインデックス(現地通貨ベース)を基準日の三菱東京UFJ銀行が公表する対顧客電信相場の仲値で円換算し、指数化したものです。
 ※騰落率は各応答日で計算しています。
 ※応答日が休業日の場合は前営業日の数値で計算しています。
 ※基準価額の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

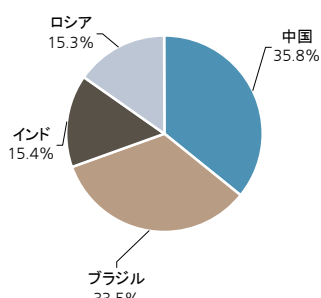
ポートフォリオの状況

資産構成比

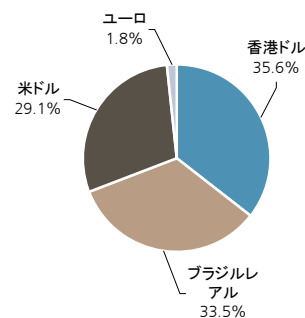
株式	99.5%
その他 現金等	0.5%
	100.0%

※資産構成比は、マザーファンドの純資産総額に占める割合です。

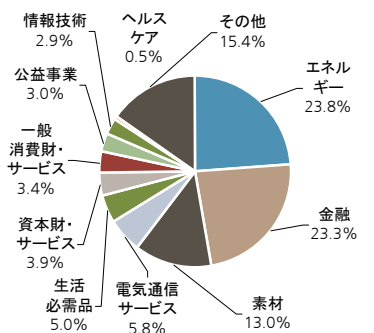
国別構成比



通貨別構成比



業種別構成比



※国別/通貨別/業種別構成比は、株式の評価総額に占める割合です。
 ※表示桁数未満の数値は四捨五入で処理しているため、合計が100%とならない場合があります。

UBS BRIC (続き)

組入れ上位10銘柄(銘柄数合計: 252銘柄)

銘柄名	国	業種	銘柄概要	構成比
1 インデックスリンクノート	インド	その他	MSCIインド インデックス(米ドル建てベース)に連動するインデックス連動債券	15.3%
2 ガスプロム	ロシア	エネルギー	天然ガス会社。天然ガスの抽出、輸送、貯蔵、販売を手掛ける。国有ガス会社の民営化で設立され、ロシアの総合ガス供給システム (Unified Gas Supply System) を保有・運営する。ロシア連邦内でガス供給独占事業を展開し、西欧へのガス輸出も手掛ける。	4.3%
3 ブラジル石油公社(優先株)	ブラジル	エネルギー	石油・ガス生産会社。関連事業として、石油製品の精製、販売、供給も手掛ける。石油タンカー、パイプライン網、海洋・河川・湖沼のターミナル、火力発電所、肥料工場、石油化学ユニットなどを経営する。南米をはじめ世界で事業を展開する。	3.9%
4 ヴァーレ(優先株)	ブラジル	素材	鉱山会社。鉄鉱石、ペレット、マンガン、合金、金、ニッケル、銅、カオリン、ボーキサイト、アルミナ、アルミニウム、炭酸カリウムなどの生産、販売を手掛ける。ブラジルに本社を置き、国内の鉄道、港湾施設なども運営する。	3.3%
5 ブラジル石油公社	ブラジル	エネルギー	石油・ガス生産会社。関連事業として、石油製品の精製、販売、供給も手掛ける。石油タンカー、パイプライン網、海洋・河川・湖沼のターミナル、火力発電所、肥料工場、石油化学ユニットなどを経営する。南米をはじめ世界で事業を展開する。	3.2%
6 チャイナ・モバイル	中国	電気通信サービス	携帯電話サービス会社。子会社を通じて携帯電話通信ならびに関連サービスを中国本土と香港SARで展開する。	3.1%
7 イタウ・ユニバンコ・ホールディング(優先株)	ブラジル	金融	商業銀行。預金業務をはじめ個人、商業、法人向け銀行サービス、およびプライベート・バンキングを手掛ける。主要サービスは、消費者ローン、資産管理、保険、年金、財務、モーゲージ、リースファイナンス、証券代理業、外為業務など。	2.7%
8 中国工商銀行	中国	金融	商業銀行。中国全土に支店を持ち、個人および法人向けの各種銀行サービスを提供。預金、融資、クレジットカード、ファンドの引き受けならびに信託業務、外国為替決済、貿易決済などの業務を行う。	2.5%
9 ヴァーレ	ブラジル	素材	鉱山会社。鉄鉱石、ペレット、マンガン、合金、金、ニッケル、銅、カオリン、ボーキサイト、アルミナ、アルミニウム、炭酸カリウムなどの生産、販売を手掛ける。ブラジルに本社を置き、国内の鉄道、港湾施設なども運営する。	2.4%
10 中国建設銀行	中国	金融	商業銀行。一般銀行業務ならびにその他の金融サービスを個人、法人向けに提供。リテールバンキング、国際決済やプロジェクトファイナンス、クレジットカードサービスを手掛ける。	2.3%

※構成比は、マザーファンドの純資産総額に占める割合です。

市場概況

2月の当ファンドの基準価額は1.31%の下落、ベンチマークも1.01%の下落となりました。各国市場の動き(現地通貨ベース)は以下の通りです。

ブラジル株式:

MSCIブラジル株インデックスは、2.06%上昇しました。月の前半は中国およびブラジルでの金融引き締め懸念を受けて軟調に推移しましたが、中旬以降、中国の1月の貿易統計の良好な内容やブラジルでの好調な企業業績などを受けて上昇に転じ、前月比で上昇して月を終えました。

ロシア株式:

MSCIロシア株インデックスは、3.51%上昇しました。石油価格の上昇が月を通じてロシア株式市場の支援材料となりました。2月に発表されたロシアの経済指標は、鉱工業生産をはじめとして、概ね良好な内容を示しました。

インド株式:

MSCIインド株インデックスは、3.14%下落しました。インフレ見通しの悪化や財政赤字の拡大などから市場心理が悪化し、インド株式市場の下落につながりました。セクター別には、不動産セクターが特に軟調に推移しました。

中国株式:

MSCI中国株インデックスは、1.89%下落しました。月の前半には中国の利上げの影響を受けて不動産・金融セクターが下落し、また後半に原油価格高騰の影響を受けて航空セクターが下落しました。

<グローバル・アンブレラ>

UBS コモディティ

追加型／海外／その他資産（商品先物）／インデックス型

ファンドの特色

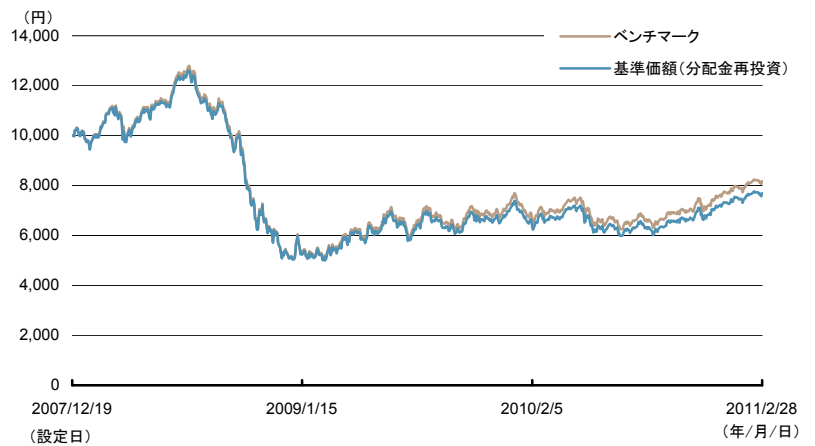
- 世界の代表的商品市況を表すUBSブルームバーグCMCI総合指数に価格等が連動するユーロ円建て債券等（商品指数連動債等）を中心に実質的に投資を行います。
- ベンチマークは、UBSブルームバーグCMCI総合指数（円換算ベース）とし、概ね連動させるように運用を行います。

運用実績

ファンドデータ

基準価額	7,696円
純資産総額	22.2億円
設定日	2007年12月19日
信託期間	2007年12月19日から 2012年12月5日まで
決算日	原則として毎年12月5日 (休業日の場合は翌営業日)

基準価額(分配金再投資)の推移(設定～2011年2月28日)



分配金実績 (1万口当たり、課税前)

決算日	分配金額
2008年12月5日	0円
2009年12月7日	0円
2010年12月6日	0円
—	—
—	—
設定来累計	0円

基準価額(分配金再投資)の騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ファンド	2.82%	11.76%	23.83%	18.07%	-30.78%	-23.04%
ベンチマーク	3.11%	12.72%	25.61%	20.78%	-26.86%	-18.18%

※分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。ただし、委託会社の判断で分配を行わないことがあります。

※基準価額(分配金再投資)は、ファンドの分配金(1万口当たり、課税前)でファンドを購入(再投資)したと仮定した場合の価額です。
 ※ベンチマークは、基準日前日のUBSブルームバーグCMCI総合指数をブルームバーグが公表する基準日前日の為替レートで円換算したものです。
 ※騰落率は各応答日で計算しています。
 ※応答日が休業日の場合は前営業日の数値で計算しています。
 ※基準価額の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

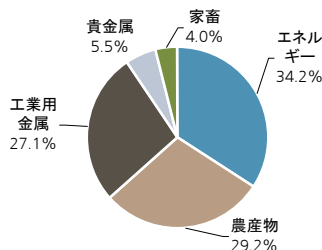
ポートフォリオの状況

資産構成比

ユーロ円建て債券*	106.9%
コールローン・その他	-6.9%
合計	100.0%

*ユーロ円建て債券とはUBS AGロンドン支店が発行する商品指数連動債です。
 ※構成比は、マザーファンドの純資産総額に占める割合です。

ベンチマークのセクター構成比



2011年2月末現在

※セクター構成比は、UBSブルームバーグCMCI総合指数における配分比率であり当ファンドのセクター構成比ではありません。
 ※表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

市場概況

2月の当ファンドの基準価額は2.82%の上昇、当ファンドのベンチマークは3.11%の上昇となりました。なお、指数構成セクターの動向は以下の通りです(騰落率は米ドルベース)。

エネルギー: 天然ガスを除くすべてのサブセクターが上昇しました。全体で4.3%上昇しました。

農産物: コーヒー、綿などが大きく上昇した一方、小麦、砂糖、大豆などは下落しました。全体では小幅な下落となりました。

工業用金属: すべてのサブセクターが上昇しました。全体では3.1%の上昇となりました。

貴金属: 金、銀ともに上昇し、全体で7.2%の上昇となりました。中東の情勢不安からリスク回避の動きが進みました。

家畜: 豚肉が下落しました。全体で0.6%の下落となりました。

<グローバル・アンブレラ>

UBS フード(豪ドル連動型)

追加型/海外/その他資産(商品先物)/インデックス型

ファンドの特色

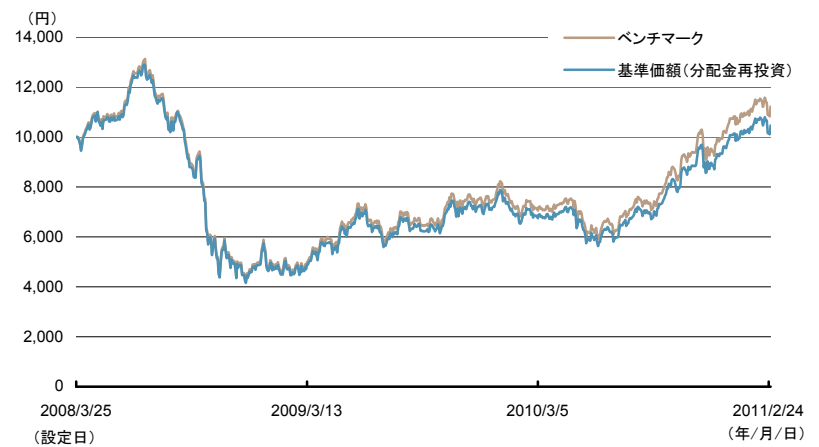
- 世界の代表的商品市況を表すUBSブルームバーグCMCI指数食品関連セクターの豪ドルヘッジベースに価格が連動するユーロ円建て債券等(商品指数連動債等)を中心に実質的に投資を行います。
- ベンチマークは、UBSブルームバーグCMCI指数食品関連セクター(豪ドルヘッジ、円換算ベース)とし、概ね連動させるように運用を行います。

運用実績

ファンドデータ

基準価額	10,463円
純資産総額	107.8億円
設定日	2008年3月25日
信託期間	2008年3月25日から 2012年12月5日まで
決算日	原則として毎年12月5日 (休業日の場合は翌営業日)

基準価額(分配金再投資)の推移(設定~2011年2月28日)



分配金実績 (1万口当たり、課税前)

決算日	分配金額
2008年12月5日	0円
2009年12月7日	0円
2010年12月6日	0円
—	—
—	—
設定来累計	0円

基準価額(分配金再投資)の騰落率

	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
ファンド	1.58%	18.07%	51.22%	54.62%	—	4.63%
ベンチマーク	1.84%	19.09%	53.51%	58.63%	—	12.19%

- ※基準価額(分配金再投資)は、ファンドの分配金(1万口当たり、課税前)でファンドを購入(再投資)したと仮定した場合の価額です。
- ※ベンチマークは、基準日前日のUBSブルームバーグCMCI指数食品関連セクター(豪ドルヘッジ)をブルームバーグが公表する基準日前日の為替レートで円換算したものです。
- ※騰落率は各応答日で計算しています。
- ※応答日が休業日の場合は前営業日の数値で計算しています。
- ※基準価額の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

※分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。ただし、委託会社の判断で分配を行わないことがあります。

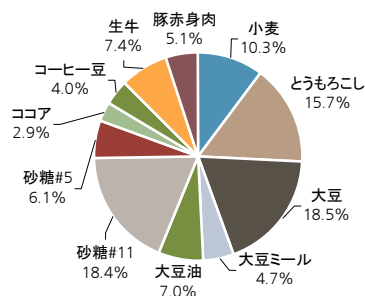
ポートフォリオの状況

資産構成比

ユーロ円建て債券*	103.4%
コールローン・その他	-3.4%
合計	100.0%

*ユーロ円建て債券とはUBS AGロンドン支店が発行する商品指数連動債です。
※構成比は、マザーファンドの純資産総額に占める割合です。

ベンチマークのセクター構成比



2011年2月末現在

※セクター構成比は、UBSブルームバーグCMCI指数食品関連セクターにおける配分比率であり当ファンドのセクター構成比ではありません。
※表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

市場概況

2月の当ファンドの基準価額は、1.58%の上昇となりました。ベンチマークも同様に1.84%の上昇となりました。当月の主なセクターの騰落率は以下の通りです(騰落率は米ドルベース)。

小麦:4.6%の下落 とうもろこし:6.6%の上昇 コーヒー:10.8%の上昇 砂糖#5:4.8%の下落

当月の豪ドル相場については、円に対して2.0%の上昇となりました。

<グローバル・アンブレラ>

UBS 原油 (WTI先物指数連動型)

追加型/海外/その他資産(商品先物)/インデックス型

ファンドの特色

- 世界の代表的商品市況を表すUBSブルームバーグCMCI指数のWTI原油指数に価格が連動するユーロ円建て債券等(商品指数連動債等)を中心に投資を行います。
- ベンチマークは、UBSブルームバーグCMCI指数 WTI原油指数(円換算ベース)とし、概ね連動させるように運用を行います。

運用実績

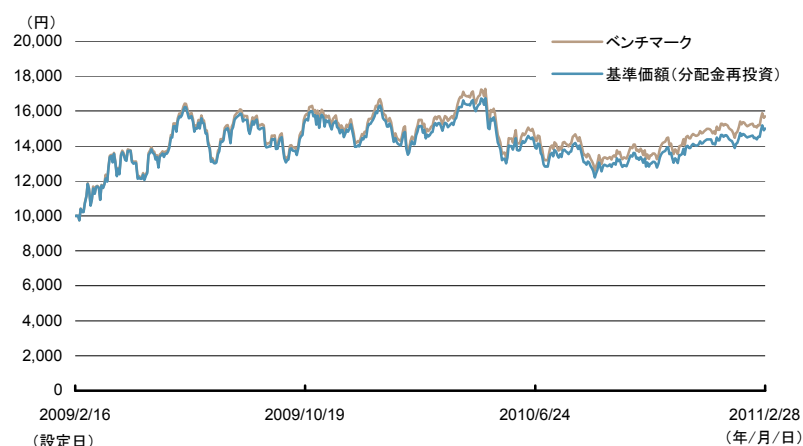
ファンドデータ

基準価額	14,994円
純資産総額	18.6億円
設定日	2009年2月16日
信託期間	2009年2月16日から 2012年12月5日まで
決算日	原則として毎年12月5日 (休業日の場合は翌営業日)

分配金実績 (1万口当たり、課税前)

決算日	分配金額
2009年12月7日	0円
2010年12月6日	0円
—	—
—	—
—	—
設定来累計	0円

基準価額(分配金再投資)の推移(設定~2011年2月28日)



基準価額(分配金再投資)の騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ファンド	3.78%	8.27%	17.09%	3.85%	—	49.94%
ベンチマーク	4.07%	9.06%	18.77%	6.45%	—	57.04%

※分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。ただし、委託会社の判断で分配を行わないことがあります。

※基準価額(分配金再投資)は、ファンドの分配金(1万口当たり、課税前)でファンドを購入(再投資)したと仮定した場合の価額です。
 ※ベンチマークは、基準日前日のUBSブルームバーグCMCI指数WTI原油指数をブルームバーグが公表する基準日前日の為替レートで円換算したものです。
 ※騰落率は各応答日で計算しています。
 ※応答日が休業日の場合は前営業日の数値で計算しています。
 ※基準価額の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

ポートフォリオの状況

資産構成比

ユーロ円建て債券*	106.8%
コールローン・その他	-6.8%
合計	100.0%

*ユーロ円建て債券とはUBS AGロンドン支店が発行する商品指数連動債です。
 ※構成比は、純資産総額に占める割合です。

市場概況

2月は、原油市場は上昇し、当ファンドの基準価額は3.78%の上昇、当ファンドのベンチマークは4.07%の上昇となりました。WTI期近物は、1月下旬に発生したエジプトの反政府デモがムバラク大統領の辞任に向けた動きから収束をみせたため、それまでの上昇から落ち着き始め、月初から中旬まで緩やかな下落基調となりました。しかし、下旬に入り、リビアで政情不安が拡大し原油供給に関する懸念が高まると、原油価格は急速に上昇し、月を終えました。

※CMCI WTI原油先物指数は、3ヵ月~3年物に分散投資をしており、期近物の値動きから大きく乖離をする場合があります。

<グローバル・アンブレラ>

UBS エコ

追加型／内外／株式／インデックス型

ファンドの特色

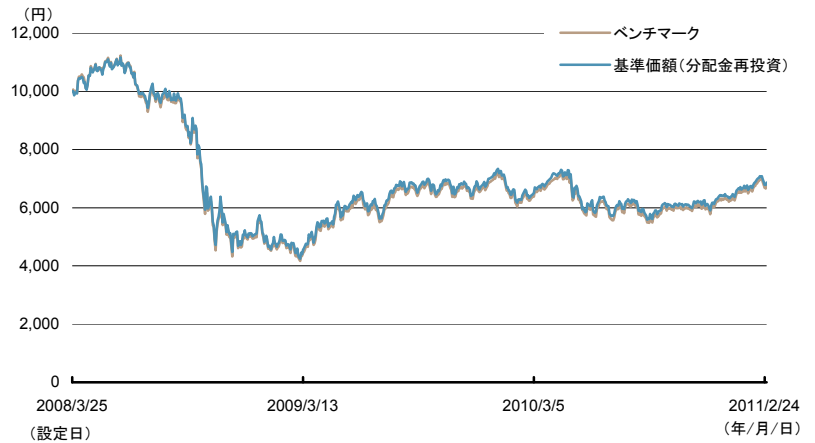
- 主として世界の地球温暖化関連株式の動向を表すECPIグローバル・クライメート・チェンジ株価指数に採用されている世界各国の企業の株式を中心に実質的に投資を行います。
- ベンチマークは、ECPIグローバル・クライメート・チェンジ株価指数(円換算ベース)とし、概ね連動させるように運用を行います。

運用実績

ファンドデータ

基準価額	6,858円
純資産総額	2.3億円
設定日	2008年3月25日
信託期間	2008年3月25日から 2012年12月5日まで
決算日	原則として毎年12月5日 (休業日の場合は翌営業日)

基準価額(分配金再投資)の推移(設定～2011年2月28日)



分配金実績 (1万口当たり、課税前)

決算日	分配金額
2008年12月5日	0円
2009年12月7日	0円
2010年12月6日	0円
—	—
—	—
設定来累計	0円

基準価額(分配金再投資)の騰落率

	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
ファンド	3.72%	14.53%	21.57%	8.20%	—	-31.42%
ベンチマーク	3.74%	14.22%	21.65%	7.94%	—	-32.64%

※分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。ただし、委託会社の判断で分配を行わないことがあります。

※基準価額(分配金再投資)は、ファンドの分配金(1万口当たり、課税前)でファンドを購入(再投資)したと仮定した場合の価額です。
 ※ベンチマークは、基準日前日のECPIグローバル・クライメート・チェンジ株価指数(現地通貨ベース)を基準日の三菱東京UFJ銀行が公表する対顧客電信相場の仲値で円換算し、指数化したものです。
 ※騰落率は各応答日で計算しています。
 ※応答日が休業日の場合は前営業日の数値で計算しています。
 ※基準価額の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

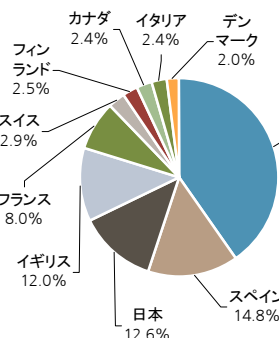
ポートフォリオの状況

資産構成比

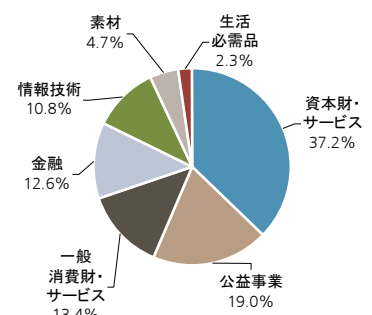
株式	99.8%
その他 現金等	0.2%
	100.0%

※資産構成比は、マザーファンドの純資産総額に占める割合です。

国別構成比



業種別構成比



※国別/業種別構成比は、株式の評価総額に占める割合です。
 ※表示桁数未満の数値は四捨五入で処理しているため、合計が100%とならない場合があります。

UBS エコ(続き)

組入れ上位10銘柄(銘柄数合計: 40銘柄)

銘柄名	国	業種	銘柄概要	構成比
1 オン・セミコンダクター	アメリカ	情報技術	半導体メーカー。データ・マネジメントおよび電力マネジメント用のアナログ、標準ロジック、ディスクリット(単機能)半導体を手掛ける。製品には IC、アナログ ICなどがある。さまざまな表面実装および標準外形ディスクリット半導体の供給も手掛ける。	3.6%
2 ジョンソンコントロールズ	アメリカ	一般消費財・サービス	自動車システムおよびビル管理機器取り扱い会社。座席システムをはじめ内部装置、バッテリーを供給する。また、ビルの管理システムと関連サービス、エネルギー管理、総合的な設備管理のほか、自動車・ハイブリッド電気自動車用のバッテリーも提供する。	2.9%
3 スイス再保険	スイス	金融	保険会社。再保険、保険、保険関連 金融商品を手掛ける。自動車、賠償、傷害、エンジニアリング、海上、航空、生命、健康などの各種保険を取り扱う。自社および同業他社向けの債券・株式投資管理も提供する。	2.9%
4 サンゴバン	フランス	資本財・サービス	ガラス製品、高性能素材、建設資材を製造。板ガラス、断熱材、ガラス容器、高性能セラミックス、プラスチック、研磨剤、および屋根ふき材、壁材、モルタル、延性鉄鋼管などの建築資材を製造する。同社は、建築資材の小売にも従事する。	2.9%
5 SIG	イギリス	資本財・サービス	断熱材および関連製品の販売・工事会社。防火や断熱、吊り天井 製品の工事、間仕切の設計・工事を請け負う。子会社を通じ、建築金物などの製品を 英国、フランス、ドイツ、ポーランド、米国で販売する。	2.9%
6 クリーン・ハーバース	アメリカ	資本財・サービス	米国とプエルトリコでさまざまな環境浄化と産業廃棄物管理サービスを提供する。サービスには、固体・液体の有害・無害廃棄物の処理と廃棄、地表補修、地下水修復、廃棄物の包装、有害物分析試験、コンサルティングなどがある。	2.9%
7 トヨタ自動車	日本	一般消費財・サービス	乗用車やトラック、バスなどを世界中で製造および販売、賃貸、修理。同社は住宅の建設・販売やプレジャーボートの製造、レーダークルーズコントロールや自動料金徴収システムなどの高度道路交通システムの開発も行う。子会社を通じ金融サービス事業も営む。東証・大証両取引所にて貸借銘柄指定。	2.8%
8 ローパー・インダストリーズ	アメリカ	資本財・サービス	工業用機器メーカー。制御、液体処理、分析などの機器を世界で製造する。対象分野は、石油・ガス、科学技術、医療診断、半導体、冷蔵、自動車、上下水道、発電、農業灌漑、その他幅広い産業のニッチ・セグメント。	2.7%
9 アイシン精機	日本	一般消費財・サービス	各種自動車部品を製造。同製品にはトランスミッションやクラッチ、ディスクブレーキ、アンチブレーキロックシステム(ABS)、パワーウィンドーなどを含む。同社は販売・製造施設を米国とベルギーに持つ。ミシンなどの家庭用電気機器の製造も行う。	2.7%
10 サンパワー	アメリカ	情報技術	太陽光発電製品会社。太陽光を利用した総合 商品とサービスを手掛ける。高パフォーマンスの太陽光発電技術製品を設計・製造・販売する。	2.7%

※構成比は、マザーファンドの純資産総額に占める割合です。

市場概況

2月は、ファンドの基準価額は3.72%の上昇となりました。ファンドのベンチマークであるECPIグローバル・クライメート・チェンジ株価指数(円換算ベース)は3.74%の上昇となりました。

月初、欧米の経済指標の改善をうけ、上昇して始まりました。後半に入り、リビア情勢に対する不安が拡大し、欧州周辺国のソブリニリスクへの懸念が高まると、下落する展開となりました。しかし、月末にかけてはサウジアラビアによる原油増産発表を受け、原油供給に関する懸念が後退したことから反発し、前月末の水準より上昇して月末を迎えました。

ベンチマークを構成するセクターに関しては、エネルギー効率化と公益事業を除き、上昇しました。中でも、再生・代替エネルギーが大きく上昇しました。

ファンドの主なリスク

UBS世界株(除く日本)	株式の価格変動リスク、カントリーリスク、為替変動リスク
UBS世界株ショート(除く日本)	株式の価格変動リスク、カントリーリスク、為替変動リスク、株価指数連動債に関するリスク
UBS BRIC	株式の価格変動リスク、カントリーリスク、為替変動リスク
UBSコモディティ	商品(コモディティ)市場の変動リスク、為替変動リスク、商品指数連動債に関するリスク
UBSフード(豪ドル連動型)	商品(コモディティ)市場の変動リスク、為替変動リスク、商品指数連動債に関するリスク
UBS原油(WTI先物指数連動型)	商品(コモディティ)市場の変動リスク、為替変動リスク、商品指数連動債に関するリスク
UBSエコ	株式の価格変動リスク、カントリーリスク、為替変動リスク
UBSマネー	金利変動リスク、短期金融商品における信用リスク

当ファンドの基準価額は、組入れられる有価証券等の値動きによる影響(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を受けますが、これら運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

当ファンドにかかる主なリスクは次の通りです。ただし、すべてのリスクについて記載されているわけではありません。

1. 株式の価格変動リスク

・株価変動リスク

株式へ投資を行う場合、株価は、政治・経済情勢、株式の需給関係、発行企業の業績等を反映して変動します。また株価は、短期的または長期的に大きく変動することがあります。組入銘柄の株価が変動した場合には、基準価額に影響を与える要因となります。

(対象ファンド:UBS 世界株(除く日本)、UBS 世界株ショート(除く日本)、UBS BRIC、UBS エコ)

・信用リスク

株式の発行企業の業績悪化や経営不安、倒産等に陥った場合には投資資金の回収が出来なくなる場合があります、基準価額に影響を与える要因となります。

(対象ファンド:UBS 世界株(除く日本)、UBS BRIC、UBS エコ)

2. カントリー・リスク

外国の有価証券へ投資を行う場合には、当該国・地域の政治・経済および社会情勢の変化により混乱が生じた場合には、基準価額に大きな変動をもたらす可能性があります。

また、BRIC(新興国)諸国には主に次のようなリスクがあり、これらのリスクはファンドの基準価額に大きな変動をもたらす可能性があります。

・先進国と比較して一般的に政治・経済および社会情勢等が著しく変化する可能性があります。

・資産の移転に関する規制、外国人による投資規制等の導入等の可能性があります。

・先進国と比較して一般的に法制度や社会基盤が未整備であり、情報開示等の基準が異なることから、正確な情報の確保が困難となる可能性があります。

(対象ファンド:UBS 世界株(除く日本)、UBS 世界株ショート(除く日本)、UBS BRIC、UBS エコ)

3. 為替変動リスク

世界各国の各種の通貨建有価証券等に投資を行う場合(株価指数連動債または商品指数連動債を通じて外貨建資産に投資する場合を含みます。)には、円貨ベースにした場合、その資産価値は、為替レートの変動により影響を受けることとなります。為替レートは短期間に大幅に変動することがあります。したがって、為替の変動に伴い、当ファンドの基準価額が変動する可能性があります。為替レートは一般に、外国為替市場の需給、世界各国への投資メリットの差異、金利の変動その他の様々な国際的要因により決定されます。また、為替レートは、各国政府・中央銀行による介入、通貨管理その他の政策によっても変動する可能性があります。

(対象ファンド:UBS 世界株(除く日本)、UBS 世界株ショート(除く日本)、UBS BRIC、UBS コモディティ、UBS フード(豪ドル連動型)、UBS 原油(WTI先物指数連動型)、UBS エコ)

4. 株価指数連動債に関するリスク

株価指数連動債*の価格は、対象インデックスの値動きと逆相関となるよう調整されるため、インデックスが上昇した場合には下落することになり、この場合、当ファンドの基準価額も下落します。また、当該債券の発行体に経営不振もしくは債務不履行等が生じた場合には、当該債券価格は大きく下落したり、利払いが滞ったり、売却が困難となる場合があります。

(対象ファンド:UBS 世界株ショート(除く日本))

ファンドの主なリスク

5. 商品(コモディティ)市場の変動リスク

UBSブルームバーグCMCI総合指数(UBS コモディティの場合)、UBSブルームバーグCMCI指数食品関連セクター(UBS フード(豪ドル連動型)の場合)またはUBSブルームバーグCMCI指数のWTI原油指数(UBS 原油(WTI先物指数連動型)の場合)の騰落率に価格が連動する仕組債を高位に組み入れた場合には、UBSブルームバーグCMCI総合指数、UBSブルームバーグCMCI指数食品関連セクターまたはUBSブルームバーグCMCI指数のWTI原油指数の変動および商品(コモディティ)市場の変動の影響を大きく受けます。

(対象ファンド:UBS コモディティ、UBSフード(豪ドル連動型)、UBS原油(WTI先物指数連動型))

6. 商品指数連動債に関するリスク

商品指数連動債*の価格は、対象インデックスの値動きと概ね連動するよう調整されるため、インデックスが下落した場合には下落することになり、この場合、当ファンドの基準価額も下落します。

また、当該債券の発行体に経営不振もしくは債務不履行等が生じた場合には、当該債券価格は大きく下落したり、利払いが滞ったり、売却が困難となる場合があります。

(対象ファンド:UBS コモディティ、UBS フード(豪ドル連動型)、UBS 原油(WTI先物指数連動型))

7. 金利変動リスク

公社債の価格は金利変動によって変動します。一般的に公社債の市場価格は、金利が低下した場合には上昇する傾向となり、逆に金利が上昇した場合には公社債の市場価格は下落する傾向があります。

(対象ファンド:UBS マネー)

8. 短期金融商品における信用リスク

ファンド資産をコール・ローン等の短期金融商品で運用する場合、取引相手方による債務不履行により損失が発生する可能性があります。

(対象ファンド:UBS マネー)

* 株価指数連動債および商品指数連動債の発行は、UBS AGロンドン支店となります(2011年2月末現在)。

インデックス掲載に際してのご留意事項

※MSCIコクサイ・インデックスに関する著作権、およびその他知的財産権はMSCI Inc.に帰属しております。MSCI Inc.が指数構成銘柄への投資を推奨するものではなく、MSCI Inc.は当指数の利用に伴う如何なる責任も負いません。MSCI Inc.は情報の確実性および完結性を保証するものではなく、MSCI Inc.の許諾なしにデータを複製・頒布・使用等することは禁じられております。

※UBSブルームバーグCMCI総合指数に関する著作権、およびその他知的財産権はUBSおよびBloombergに帰属しています。UBS AGまたはその関係会社(以下、「UBS」という)が指数構成銘柄への投資を推奨するものではなく、UBSは当指数の利用に伴う如何なる責任も負いません。UBSは情報の確実性および完結性を保証するものではなく、UBSの許諾なしにデータを複製・頒布・使用等することは禁じられております。

※ECPI グローバル・クライメート・チェンジ株価指数に関する著作権およびその他知的財産権はECPI-E.Capital Partners®に帰属しております。同社は情報の確実性および完結性を保証するものではなく、同社の許諾なしにデータを複製・頒布・使用等することは禁じられております。

詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

お申込メモ

購入・換金単位	1円単位または1口単位を最低単位として、販売会社が定める単位とします。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。 (購入代金は、販売会社の定める期日までにお支払いください。)
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額とします。 ただし、「UBS 世界株(除く日本)」「UBS エコ」および「UBS マネー」は、換金申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
換金代金	換金申込受付日から起算して原則として6営業日目から販売会社でお支払いします。
申込締切時間	販売会社の営業日の午後3時までに販売会社が受付けたものを当日の申込分とします。
スイッチング	「グローバル・アンブレラ」を構成する8つのファンド間でスイッチングが可能です。ただし、販売会社によりスイッチングができない場合、またはスイッチングの対象ファンドが異なる場合があります。詳しくは、各販売会社へお問い合わせ下さい。「UBS マネー」以外のファンドから他ファンドにスイッチングする場合には、一旦、「UBS マネー」にスイッチングし、後日、他ファンドへスイッチングする必要があります。
購入・換金不可日	ロンドン証券取引所もしくはニューヨーク証券取引所の休業日またはロンドンの銀行もしくはニューヨークの銀行の休業日と同日の場合には、購入・換金申込みの受付は行いません。 また、「UBS BRIC」に関しては、上記に加えて、サンパウロ証券取引所、ロシア証券取引所、ボンベイ証券取引所もしくは香港取引決済所の休業日と同日の場合も、購入・換金申込みの受付は行いません。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止その他やむを得ない事情があるときは購入・換金申込の受付を中止すること、および既に受付けた購入・換金の申込を取消すことがあります。
信託期間	2012年12月5日まで
決算日および収益分配	決算時(原則毎年12月5日。休業日の場合は翌営業日)に、収益分配方針に基づいて分配を行います。 (再投資可能)
繰上償還	次の場合には、ファンドの信託契約を解約し、ファンドを終了(繰上償還)させる場合があります。 純資産総額が各ファンド30億円(UBS原油(WTI先物指数連動型)は20億円、UBSマネーは100万円)を下回ることとなったとき、この信託契約を解約することが受益者のために有利であると認めるとき、またはやむを得ない事情が発生したとき
決算日	原則毎年12月5日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年1回の決算時に、収益分配方針に基づいて分配を行います。(再投資可能)
課税関係	課税上は、株式投資信託として取り扱われます。益金不算入制度および配当控除は適用されません。

ファンドの費用

当ファンドの購入時や保有期間中には以下の費用がかかります。

■ 投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入申込受付日の翌営業日の基準価額に3.15%(税抜3.00%)以内で販売会社が定める率を乗じて得た額を販売会社が定める方法により支払うものとします。
換金時手数料	ありません。
信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額の0.30% ※「UBS 世界株(除く日本)」「UBS エコ」および「UBS マネー」には、信託財産留保額はありません。

■ 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	日々の純資産総額に対して以下の率を乗じて得た額とします。 UBS 世界株(除く日本): 年率0.6825%(税抜0.65%) UBS 世界株ショート(除く日本): 年率0.6825%(税抜0.65%) UBS BRIC: 年率1.3335%(税抜1.27%) UBS コモディティ: 年率0.8925%(税抜0.85%) UBS フード(豪ドル連動型): 年率1.0500%(税抜1.00%) UBS 原油(WTI先物指数連動型): 年率1.0500%(税抜1.00%) UBS エコ: 年率1.2600%(税抜1.20%) UBSマネー: 年率0.5775%(税抜0.55%)を上限として金利水準によって変動
その他の費用・ 手数料	・監査報酬および法定手続き(書類の作成、印刷、交付等)に関する費用など(日々の純資産総額に対して上限年率0.1%(税込)、「UBS マネー」は上限年率0.05%(税込))を間接的にご負担いただく場合があります。 ※原則として、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日、毎計算期末または信託終了のときファンドから支払われます。 ・信託財産に関する租税、組入有価証券の売買委託手数料、外国での資産の保管費用などが、原則として費用発生の都度、ファンドから支払われます。 ※信託財産の規模、取引量等により変動しますので、事前に金額および計算方法を表示することができません。

投資者の皆様にご負担いただく手数料などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ファンドの関係法人

委託会社 UBSグローバル・アセット・マネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第412号
 加入協会:社団法人 投資信託協会、社団法人 日本証券投資顧問業協会、日本証券業協会

受託会社 三菱UFJ信託銀行株式会社(再信託受託会社: 日本マスタートラスト信託銀行株式会社)

投資顧問会社 ユービーエス・グローバル・アセット・マネジメント(UK)リミテッド

販売会社	商号等	加入協会	加入協会		
			日本証券業協会	(社)日本証券投資顧問業協会	(社)金融先物取引業協会
野村證券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号	○		○	

本資料はUBSグローバル・アセット・マネジメント株式会社(以下、「弊社」といいます。)が運用状況に関する情報提供を目的として作成した資料です。本資料に記載された運用実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。本資料に記載された市場やポートフォリオの見通し等は本資料の作成時点での弊社の見解であり、将来の市場の動向等を保証するものではありません。また、将来、予告なしに変更される場合もあります。投資信託は値動きのある有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本は保証されているものではありません。投資信託は預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構または保険契約者保護基金の保護の対象ではありません。また証券会社以外でご購入頂いた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。本ファンドのご購入に際しては、販売会社より投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので、必ず内容をご確認の上、お客様ご自身でご判断下さい。

© UBS 2011. キーシンボル及びUBSの各標章は、UBSの登録又は未登録商標です。UBSは全ての権利を留保します。